Season 9 | No.88

みんなで歌うと一つになれる

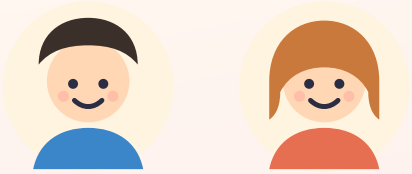




音楽にできることって多いね

音楽と社会

音楽は、人と人、社会をつないでいる



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

社会の中の音楽 3〜9
音楽がつなぐ社会 10〜14
音楽と仕組み 15〜17
自分にできること 18〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

社会の中の音楽

音楽は、社会のいろいろな場面で使われています。

音楽は、1人で楽しむだけのものではありません。学校、地域、国、世界。**音楽は、人と人、社会をつなぐ役割**もはたしています。
この教材では、社会の中で音楽がどんな働きをしているかを見ていきます。



ポイント

- 行事や式典など、社会の節目には、よく音楽が使われます。
- 音楽は、大勢の気持ちを1つにする力を持っています。
- 社会と音楽のかかわりを知ると、音楽の見方がさらに広がります。

やってみよう

1. 学校や地域で、音楽が使われる場面を書いてみよう。

ワンポイント 身近な行事にも、音楽の社会的な役割が表れています。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 2

国歌

国歌は、国を代表する特別な歌です。

国歌

national anthem

国を代表する、特別な歌

国旗掲揚（こっきけいよう）

flag raising

国旗をかかげること

ポイント

- 国際的なスポーツ大会や式典で、国歌が歌われることがあります。
- 国歌には、その国の歴史や思いが込められています。
- 多くの国が、それぞれの国歌を持っています。

やってみよう

1. 国歌が流れる場面を、見たり聞いたりしたことはありますか。

書いて覚えよう

Lesson
3-4

校歌・応援歌

学校やチームにも、代表する歌があります。

校歌

school song

学校を代表して歌われる歌

応援歌

cheering song

チームや仲間を応援するための歌

ポイント

- 校歌には、学校の歴史や大切にしている思いが歌われています。
- 応援歌は、力強いリズムで、応援する気持ちを後おしします。
- みんなで声を合わせて歌うことで、一体感が生まれます。

やってみよう

1. 自分の学校の校歌の歌詞を、1つ思い出してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 5

労働と音楽

働くときにも、音楽が使われてきました。

ポイント

- 田植えや漁など、昔から仕事のときに歌われてきた労働歌があります。
- みんなで声を合わせることで、力を合わせるタイミングがそろいます。
- 今でも、工場やお店でBGMが流れることがあります。

やってみよう

1. 働く場面で流れている音楽に、気づいたことはありますか。

書いて覚えよう

Lesson 6

平和と音楽

音楽は、平和を願う気持ちを表すためにも使われます。

ポイント

- 世界には、平和を願って作られた歌や演奏会があります。
- 言葉がちがっても、音楽を通して思いが伝わることがあります。
- みんなで歌うことが、心を寄せ合うきっかけになることもあります。

やってみよう

1. 平和について歌った曲を知っていますか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 7

チャリティーと音楽

音楽会が、支援活動のきっかけになることもあります。

チャリティー

charity

困っている人を助けるための活動

寄付（きふ）

donation

お金や品物を、こまっている人のために差し出すこと

ポイント

- チャリティーコンサートでは、チケット代の一部が支援に使われることがあります。
- 音楽会に人が集まることで、活動が広く知られるきっかけにもなります。

やってみよう

1. 音楽を通じて誰かを応援できるとしたら、どんな形がよいと思いますか。

書いて覚えよう

Lesson 8

災害と音楽の力

大変なときにも、音楽が心を支えることがあります。

ポイント

- 災害のあと、音楽が人々を励ましたり、心を寄せ合うきっかけになったりすることがあります。
- 支援を呼びかけるためのチャリティーソングが作られることもあります。
- 音楽だけで解決できることばかりではありませんが、支える力の1つになります。

やってみよう

1. 大変なときに、音楽が助けになると思う理由を考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 9

音楽と地域づくり

音楽は、地域を元気にする力にもなります。

ポイント

- 地域のお祭りやイベントに、音楽が欠かせないことがよくあります。
- 地元のバンドや合唱団が、地域の交流の場をつくることもあります。
- 音楽をきっかけに、世代をこえた交流が生まれることがあります。

やってみよう

1. あなたの地域で、音楽が使われるイベントを知っていますか。

書いて覚えよう

Lesson
10

音楽と国際交流

音楽は、国をこえて人々をつなぎます。

Emma
日本に来る前、日本の音楽を聴いて興味を持ったんだ。



Ken
言葉がわからなくても、音楽で興味を持てるっていいね。

ポイント

- 言葉が通じなくても、音楽を通して交流できることがあります。
- 国際的な演奏会や合唱を通して、文化のちがいを知ることもできます。

やってみよう

1. 外国の音楽で、聴いてみたいものはありますか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 11

音楽の多様性

世界には、さまざまな音楽の文化があります。

多様な音楽の例

クラシック　民謡　ジャズ　雅楽（ががく）　世界各地の伝統音楽　現代のポップス

それぞれの音楽に、生まれた背景や大切にされている価値があります。

ポイント

- 1つの正しい音楽の形があるわけではなく、いろいろな音楽が同じように大切です。
- 知らない音楽にふれることで、新しい発見があります。

やってみよう

1. まだ聴いたことのない音楽の文化を、1つ調べてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

音楽とバリアフリー

だれもが音楽を楽しめるようにする工夫があります。

バリアフリー

barrier-free

だれもが利用しやすいように、障害となるものを取りのぞくこと

手話歌

sign language song

手話をつけて歌われる歌

ポイント

- 車いすでも入りやすい会場づくりが進められています。
- 手話歌や振動で音を感じる工夫など、いろいろな楽しみ方が考えられています。
- だれもが音楽を楽しめる社会が、少しずつ広がっています。

やってみよう

1. だれもが音楽を楽しめるように、どんな工夫があるとよいと思いますか。

書いて覚えよう

Lesson
13

音楽と教育

学校教育の中にも、音楽が組み込まれています。

ポイント

- 音楽の授業では、歌う・演奏する・聴く力を学びます。
- 合唱や合奏を通して、協力する力も育まれます。
- 音楽教育は、感じる力や表現する力を育てる大切な時間です。

やってみよう

1. 音楽の授業で、いちばん好きな時間はどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
14-15

音楽とメディア・音楽とお金のしくみ

音楽は、テレビやネットを通じて届けられ、お金の流れも生まれます。

メディア

media

情報を多くの人に伝える手段

ストリーミング

streaming

インターネットで音楽を配信するしくみ

ポイント

- テレビ・ラジオ・インターネットなど、音楽が届く方法は増えてきました。
- 音楽を聴く人が支払うお金の一部が、作った人たちに届くしくみになっています。
- コンサートのチケット代やグッズの売り上げも、音楽を支える大切な収入です。

やってみよう

1. ふだんどんな方法で音楽を聴いていますか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
16

音楽とルール

音楽にも、みんなが守るべきルールがあります。

ポイント

- 著作権など、作った人を守るルールがあります。
- 音量や時間帯など、周りに配慮するためのルールもあります。
- ルールを知り、守ることが、音楽を長く楽しむことにつながります。

やってみよう

1. 音楽を楽しむときに気をつけたいルールを、1つ書こう。

書いて覚えよう

Lesson 17

音楽の未来と社会

これからの社会で、音楽はどう変わっていくでしょうか。

ポイント

- 新しい技術によって、音楽の作り方や届け方は変わり続けています。
- 一方で、生の演奏や人とのつながりは、これからも大切にされていくでしょう。
- 変わるものと変わらないものの、両方に目を向けることが大切です。

やってみよう

1. これからの音楽は、どう変わっていくと思いますか。

書いて覚えよう

Lesson 18

自分にできること

音楽と社会のかかわりに、自分にできることを考えてみましょう。

聴く
いろいろな音楽に興味を持つ

参加する
学校や地域の音楽の場に加わる

伝える
好きな音楽を人にすすめる

守る
ルールやマナーを大切にする

応援する
がんばっている人を音楽で応援する

学ぶ
音楽の歴史や文化を調べる

やってみよう

1. この中で、まずやってみたいことはどれですか。＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 19

まとめ

音楽と社会について学んだことを、ふり返りましょう。

ポイント

- 音楽は、学校・地域・国など、さまざまな社会の場面で使われています。
- 音楽は、人と人をつなぎ、支え合う力になることがあります。
- 音楽を楽しむには、ルールやマナーを守ることも大切です。

つなぐ

地域・国際交流・多様性

支える

チャリティー・災害・教育

守る

ルール・著作権・マナー

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

社会の中で使われる音楽をくらべてみましょう。

くらべるところ	校歌	応援歌
テンポ		
歌詞の内容		
歌われる場面		
伝わる気持ち		

ポイント

- 同じ「みんなで歌う歌」でも、目的によって曲の雰囲気がちがいます。
- 歌詞に注目すると、こめられた思いに気づきやすくなります。

やってみよう

1. 知っている校歌と応援歌を思い出して、表を完成させよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

実際にやってみよう・みんなで練習

社会の中の音楽を、体験してみましょう。

A （校歌の一部を歌う、または口ずさむ）

B （一緒に歌う）＿＿＿＿＿＿＿＿

A （応援するかけ声をかける）がんばれ！

B （一緒にかけ声を返す）＿＿＿＿＿＿＿＿

A （好きな地域の音楽を紹介する）

B （感想を伝える）

ポイント

- みんなで声を合わせると、応援や一体感の力を体で感じられます。
- 自分の地域の音楽を紹介し合うのもよい練習になります。

ワンポイント 声を合わせることは、言葉以上に気持ちを1つにする力があります。

書いて覚えよう

Lesson
23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

社会との関係がピンとこない
身近に感じにくい

知らない音楽の文化に興味が持てない
きっかけが少ない

コツ

こうしてみよう

身近な行事から考える
校歌や地域の祭りから始める

少しずつ調べてみる
1つの国や文化から広げる

ポイント

- 身近な音楽から考えると、社会とのつながりが見えやすくなります。
- 興味の幅を少しずつ広げていくことが、理解を深める近道です。

やってみよう

1. あなたがつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

代表する歌

- ☐ **国歌**
  国を代表する歌
- ☐ **校歌**
  学校を代表する歌
- ☐ **応援歌**
  応援するための歌

支える音楽

- ☐ **チャリティー**
  困っている人を助ける活動
- ☐ **寄付**
  お金や品物を差し出すこと
- ☐ **労働歌**
  働くときに歌われる歌

つながる音楽

- ☐ **国際交流**
  国をこえた交流
- ☐ **多様性**
  いろいろな文化があること
- ☐ **バリアフリー**
  だれもが利用しやすくすること

社会の仕組み

- ☐ **メディア**
  情報を伝える手段
- ☐ **ストリーミング**
  ネットで音楽を配信するしくみ
- ☐ **著作権**
  作った人を守るきまり

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。音楽と社会のつながりが、もっと見えてきます。

書いて覚えよう

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

国歌	●	● ア. 困っている人を助ける活動
校歌	●	● イ. 国を代表する歌
チャリティー	●	● ウ. ネットで音楽を配信するしくみ
バリアフリー	●	● エ. 学校を代表する歌
ストリーミング	●	● オ. だれもが利用しやすくすること

2. 代表する歌を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 困っている人を助けるための活動 → （ チャリティー ／ メディア ）
2. だれもが利用しやすいようにすること → （ バリアフリー ／ 多様性 ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	社会の中の音楽の役割を言える	つなぐ・支える力
☐	校歌や応援歌の意味を説明できる	身近な代表の歌
☐	音楽の多様性について言える	いろいろな文化への理解
☐	音楽にかかわるルールを言える	著作権やマナー
☐	自分にできることを1つ見つけた	行動する力

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 全部できなくても大丈夫。少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日の中で、音楽と社会のつながりに目を向けよう。

朝
ニュースで流れる音楽に注目する

移動中
地域のイベント情報をさがす

家で
校歌を家族に歌ってみせる

夕方
世界の音楽を1つ調べる

夜
今日気づいたことをノートに書く

週末
地域の音楽イベントに目を向ける

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 身近な出来事から、社会と音楽のつながりを見つけてみましょう。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

音楽と社会について、人に伝えてみよう。

テーマ	
調べたこと	
印象に残ったこと	
自分にできること	
伝えたい人	

Ken の例

テーマ 地域の音楽イベント／調べたこと 商店街の音楽祭／印象に残ったこと 世代をこえて参加していたこと／自分にできること 来年参加してみる／伝えたい人 家族

感想を3文で書こう

① 音楽と社会について、〜だと知りました。② とくに、〜が印象に残りました。③ これからは、〜していきたいです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

音楽と社会の学びは、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で
音楽と社会についての本を読む

地域で
音楽イベントに参加する

ニュースで
音楽と社会の話題に注目する

次のステップ

音楽とテクノロジー
新しい届け方を知る

音楽の歴史をたどる
音楽と社会の変化を知る

練習の計画
自分の音楽との付き合い方を考える

ポイント

- この教材の次は「音楽とテクノロジー」。音楽と技術のつながりを、さらにくわしく学んでいきます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 音楽は社会にどんな役割を果たしていますか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん印象に残ったことは？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 自分にできることは何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

音楽と社会ミッションカード

MISSION 1
校歌や応援歌を口ずさんでみる

MISSION 2
地域の音楽イベントを1つ調べる

MISSION 3
外国の音楽を1曲聴く

MISSION 4
音楽のルールについて家族と話す

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

音楽と社会チャレンジ

音楽と社会のつながりを、あらためて見つめよう。

調べよう

地域の**音楽イベント**を1つ調べる

聴こう

外国の**音楽文化**を1つ聴く

伝えよう

音楽の力について**家族**に話す

こたえ

L26 国歌→イ 校歌→エ チャリティー→ア バリアフリー→オ ストリーミング→ウ　2. 国歌 ／ 校歌 ／ 応援歌　3. チャリティー ／ バリアフリー

L33 （例）音楽は、人と人、地域や国をつなぎ、支え合う力になる。

書いて覚えよう

音楽と社会（Season 9 ｜ No.88）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。